

インパクトIPO普及のためのご提案



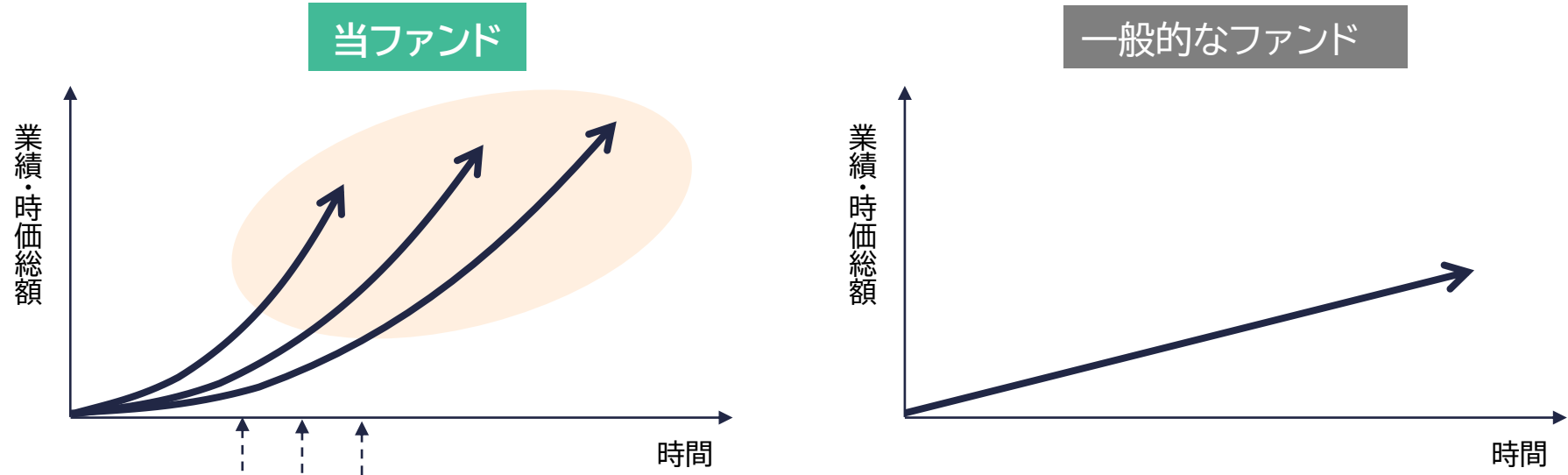
2023年8月



パフォーマンスの見通しについて(当社グローバルインパクトファンド販促資料)

- ◆ 中長期的には投資先企業の業績にパフォーマンスは収斂すると考えています。
- ◆ 当ファンド投資企業において、社会課題の解決に貢献する有望市場は指数関数的に成長し、対象企業の加速度的な業績拡大を期待しています。結果としてパフォーマンスは改善を見込みます。

(ご参考)投資企業の成長イメージ



課題解決ニーズの顕在化、革新的技術の確立に時間を要すケースが多い一方で、大きな上昇幅が期待できる企業が多い

	当ファンド	一般的なファンド	備考
銘柄選択の適切性	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> 長期シナリオに基づいた社会課題の解決に資する銘柄の特定 投資先企業に対して将来目標を共有し、具体的な対話による進捗確認
業績・時価総額の上昇幅	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> 社会課題の進展とともに加速度的な需要・業績拡大を期待 成長余地が大きい中小型企业を中心としたポートフォリオ
上昇までに要する時間	△	○	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決ニーズの顕在化や革新的技術の確立の正確なタイミングは予測困難

インパクトIPOに必要な視点

- ◆ 健全な市場創造のためには適切な情報開示と適切な値付けが必要
- ◆ 事業会社→インパクト事業を拡大するための適切な価格と規模の資金調達
- ◆ VC→エグジットした後もインパクト企業が市場において適切な評価を受け、資金調達し、持続的な成長を実現することによりインパクトを最大化することが大切な視点
- ◆ 上場株インパクト投資家→長期リスクリターンの観点で適切なリスクプレミアムを織り込んだ価格にてインパクト企業へ投資をすることで、その後のアディショナルリテティの実現等によりインパクト発現と財務リターンを享受
- ◆ 一般アクティブ投資家→長期に亙る情報開示とロジックに基づき、インパクト発現の確度をよりどころに財務リターンのアップサイドを評価し投資することで適切な財務リターンを享受

当社インパクトファンドの投資プロセス

思いをつなぐ、未来を形に。 *Next Action* RESONA GROUP

グローバルインパクト投資ファンド (気候変動)
追加型投資 / 内外 / 株式

販売用資料
2023年2月

Impact report
インパクトレポート

2022年版

CLIMATE CHANGE

ファンドの設定・運用は
リそなアセットマネジメント

■お申込みにあたっては、最新の「投資信託説明書（交付目論見書）」および一体としてお渡りする「目論見書補完書面」を必ずご覧ください。

当ファンドの投資銘柄選定基準

	基準	説明
インテション	インテションと アディショナルリティ	インパクトの創出が経営ビジョンや方針、事業戦略に組み込まれ、整合しているか。また、気候変動の緩和または対応に貢献する事業は、企業の基盤事業やコアコンピタンスに裏付けられているか。 企業の経営は、インパクトの創出を実現可能とするために十分なリーダーシップと監督が発揮できるものか。
財務	財務的リターン	インパクトの創出につながる事業が、企業の現在および将来の財務的なリターンにつながるか。
インパクト	気候変動の緩和、 気候変動の影響への 適応に対する貢献	気候変動の緩和または気候変動の影響への適応に著しく貢献する事業活動があるか。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 気候変動の緩和の場合、ネットゼロ社会の実現（パリ協定の達成）に貢献する、またはネットゼロへの移行に貢献する技術・製品・サービス・ビジネスモデルであるか（移行期の技術として最善の水準を満たしており、さらにネットゼロへの移行の道筋と整合するもの）。 ■ 気候変動の影響への適応の場合、現在および将来の気候変動による経済活動への悪影響のリスクを実質的に低減する技術・製品・サービス・ビジネスモデルであるか。 自社の事業活動から生じるGHG排出量が大きい場合には、パリ協定と整合した排出削減目標設定などの取り組みを計画または実行しているか。
	インパクトの受益者	企業の製品やサービスがもたらす便益は、それを求めるステークホルダーに対して提供されているか（脆弱なグループなど、十分な便益を受けられていないステークホルダーにも便益をもたらすか）。
	インパクトの有効性	環境や社会に対するアウトカムや、製品やサービスが対象者に便益をもたらしていることを、企業が信頼できる方法で測定しているか（例：既存のインパクト評価基準などを使って報告）。
	リスク	期待するアウトカムを得るうえで阻害要因となる課題を企業が認識し、対処しているか。
ESG	デューディリジェンス	各企業におけるマテリアルな環境・社会課題について、当社が実施するESGデューディリジェンスの結果、適合と評価されるか。

①インパクト選定基準としてインパクト評価の5要素を活用

インパクト評価の5要素

インパクトは何か (What)	気候変動の緩和または気候変動の影響への適応に著しく貢献する事業活動があるか。 ■ 気候変動の緩和の場合 、パリ目標の達成に貢献する技術・製品・サービス・ビジネスモデルであるか。 ■ 気候変動の影響への適応の場合 、現在および将来の気候変動による経済活動への悪影響のリスクを実質的に低減する技術・製品・サービス・ビジネスモデルであるか。
誰へのインパクトか (Who)	企業の製品やサービスがもたらす便益は、それを求めるステークホルダーに対して提供されているか。
どれほどのインパクトか (How much)	環境や社会に対するアウトカムや、製品やサービスが対象者に便益をもたらしていることを、企業が信頼できる方法で測定しているか。
インパクトに寄与したか (Contribution)	気候変動の緩和または対応に貢献する事業は、企業の主要な事業として位置付けられているか。
リスクはないか (Risk)	期待する成果を得るうえで障害要因となる課題を企業が認識し、対処しているか。

出所: Impact Management Project公式サイトより当社作成

②IMMプロセス

- ◆ インパクトゴールとなるKGIと、その進捗を把握するアウトプット・アウトカムKPIの設定・管理
- ◆ インパクトリターンと財務リターンの関連性に関する定性・定量ロジックの把握とエンゲージメントに活用

KPI 対象企業/Name	Unit	Related Statistics				Memo Reference	FYベース									
		Stock/Flow	Type	Name	Source		2030	2029	2028	2027	2026	2025	2024	2023	2022	
ORGN Base case 売上 guidance						Investor presentation 2023-5	4019	2759	2138	1499	830	475	122	60		
ORGN EBITDA Margin							59%	53%	49%	40%	36%	29%				
ORGN Best case 売上 guidance						Investor presentation 2023-5	9090	6126	4678	3259	1655	887	122	60		
ORGN Completed plant guidance						Investor presentation 2023-5	7	5	4	3	2	2	1	1		
ORGN CMF生産量	ton	Flow	Output	推計			12,630,280	7,159,956	3,877,761	1,689,632	595,567	297,783	66,224	33,112		
ORGN PET樹脂生産量	ton	Flow	Output	推計			16,776,297	9,510,283	5,150,676	2,244,270	791,068	395,534	87,963	43,982		
ORGN カーボンブラック生産量	ton	Flow	Output	推計												
ORGN PET削減貢献量(CO2)							46,973,630	26,628,794	14,421,891	6,283,957	2,214,989	1,107,495	246,297	123,149		

フォーミュラ

#	KPI	Unit	一定値	Assumption Logic	Memo Reference	FYベース	
						2022	2021
ORGN	IVL Gross margin					15%	
ORGN	PET市場に対するGreen CMF市場価値					68%	
ORGN	plant 2 products solds	ton	1,094,065		Investor presentation 2023-5		
ORGN	plant 3-7 products solds	ton	595,567		Investor presentation 2023-5		
ORGN	plant 1 products solds	ton	66,224		Investor presentation 2023-5		
ORGN	天然PE再生ペレット	ドル/t	870				
ORGN	削減貢献量(PET)	ton	2.80		Investor presentation 2023-5		

KGI

#	Out KPI	Unit	Related Statistics				Memo Reference	FYベース					
			Stock/Flow	Type	Name	Source		2035	2030	2028	2022	2021	2020
ORGN	PET市場 TAM	ton	Flow	Output		Source; Blueweave			114,700,000			80,900,000	
ORGN	PET市場 TAM	BN USD	Flow	Output		Global polyethylene terephthalate (PET) resinmarket	144	91.37		44.3			
ORGN	CMF市場 TAM	BN USD	Flow	Output		Polyethylene Terephthalate [PET] M	98	62		30			